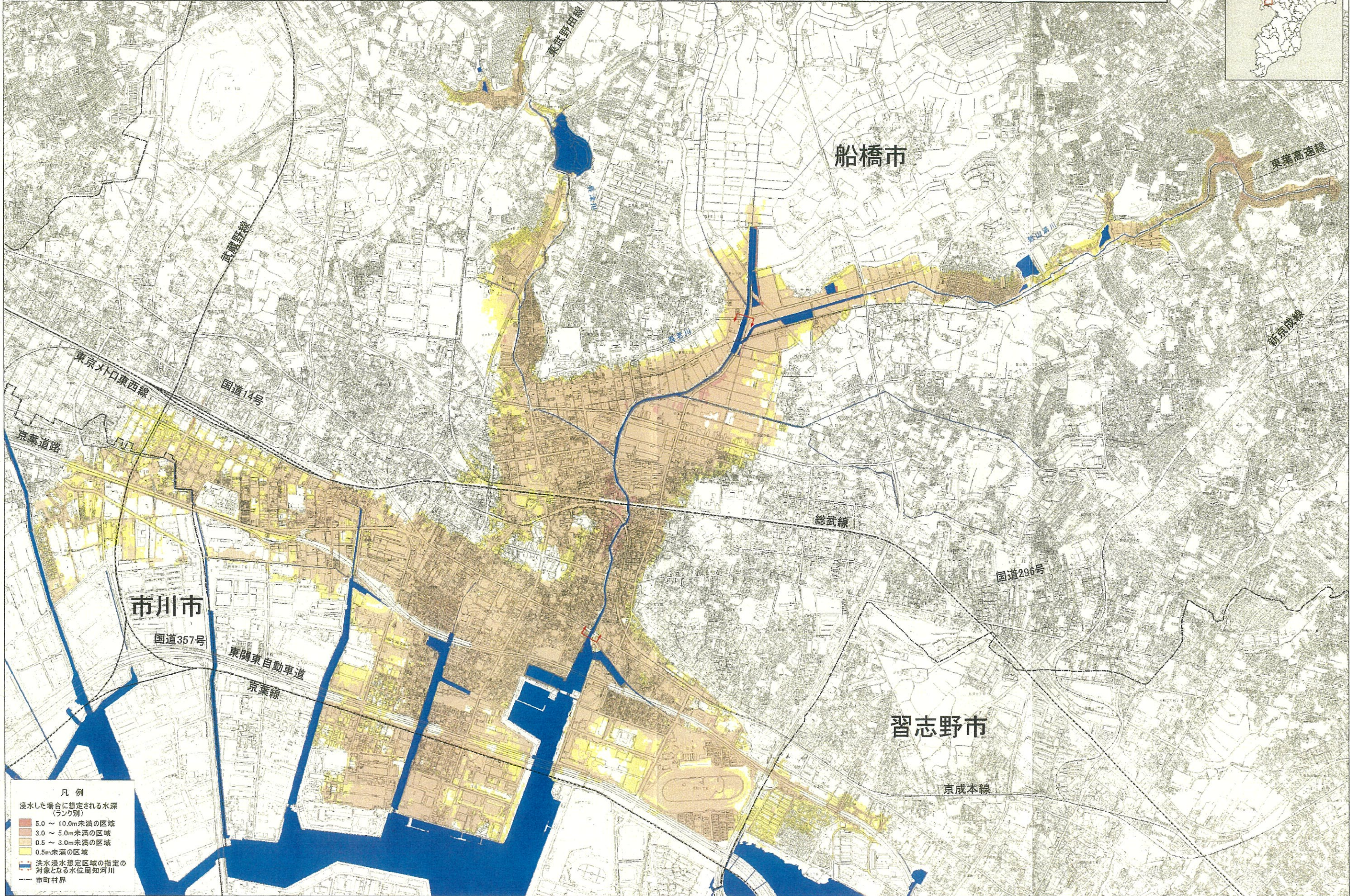
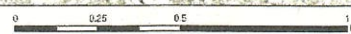




海老川水系海老川洪水浸水予想区域図(想定最大規模)・海老川河道掘削、調節池暫定掘削

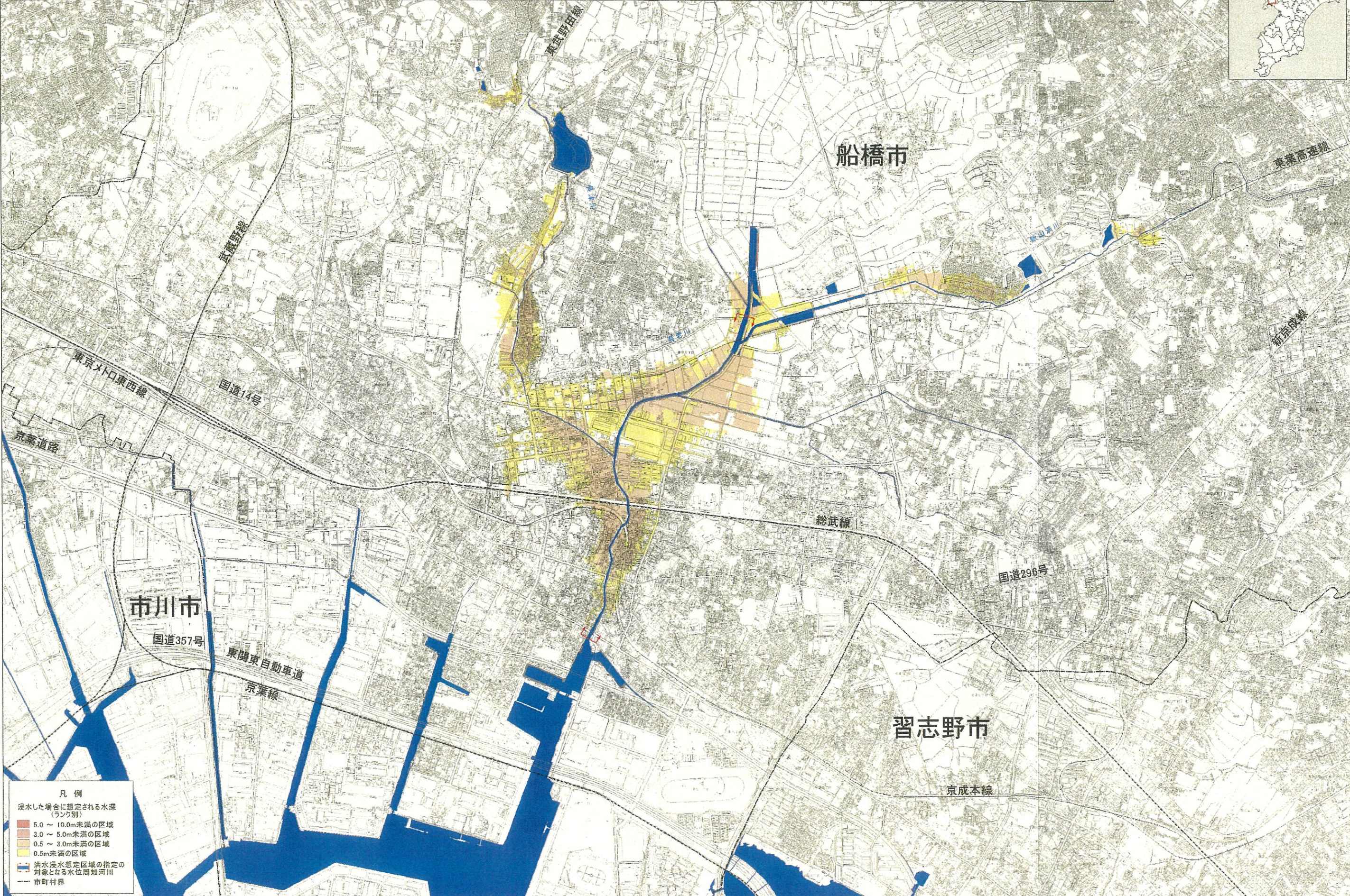


- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深
(ランク別)
- 5.0 ~ 10.0m未満の区域
 - 3.0 ~ 5.0m未満の区域
 - 0.5 ~ 3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- 洪水浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川
- 市町村界

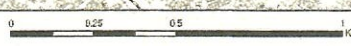




海老川水系海老川洪水浸水予想区域図(計画規模)・海老川河道掘削、調節池暫定掘削



- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
 - 5.0 ~ 10.0m未満の区域
 - 3.0 ~ 5.0m未満の区域
 - 0.5 ~ 3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
 - 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
 - 市町村界





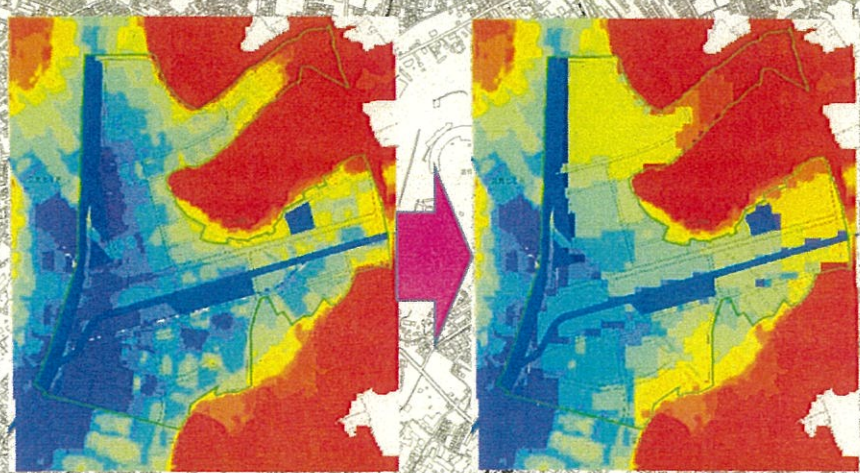
海老川水系海老川洪水浸水予想区域図(高頻度降雨(1/10))・海老川河道掘削、調節池暫定掘削



- 凡例
- 浸水した場合に想定される水深
(ランク別)
- 5.0 ~ 10.0m未満の区域
 - 3.0 ~ 5.0m未満の区域
 - 0.5 ~ 3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- 洪水浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川
- 市町村界



海老川水系海老川洪水浸水予想区域影響図(想定最大規模) 海老川河道掘削、調節池暫定掘削



5mメッシュ平均地盤高(T.P.m)
土地区画整備

8.0m~
7.5m~8.0m未満
7.0m~7.5m未満
6.5m~7.0m未満
6.0m~6.5m未満
5.5m~6.0m未満
5.0m~5.5m未満
4.5m~5.0m未満
4.0m~4.5m未満
0.0m~4.0m未満
0.0m未満

整備前

整備後

河道改修により、下流に伝搬しやすくなったと推測また、調節池効果により氾濫水の減少と推測

盛土のため

左岸が盛土により高くなるため右岸への越水量が増加する

整備前は河道沿いの地盤が低かったが、整備後は盛土により地盤が概ね一様となった中で、農地に建物が建設され氾濫水の流れが悪くなり水位(水深)増加に繋がったと推測

区画整理事業による建物や盛土が原因で区域内の水位が上昇し、上流側の氾濫水も下流側に伝搬しにくくなった

盛土のため

調節池50cm掘削のため

海へ排水されるため、海に近づくにつれて差異が減少しほとんど差異がなくなる

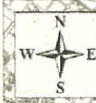
河道改修で上流側で流れやすくなったことで、下流への到達する氾濫流が増加し末端で若干増加すると推測

浸水深変化量(m)
予想区域図—想定区域図

土地区画整備範囲
1.00m以上増
0.50m以上増
0.05m以上増
(±0.05m)
0.05m以上減
0.50m以上減
1.00m以上減

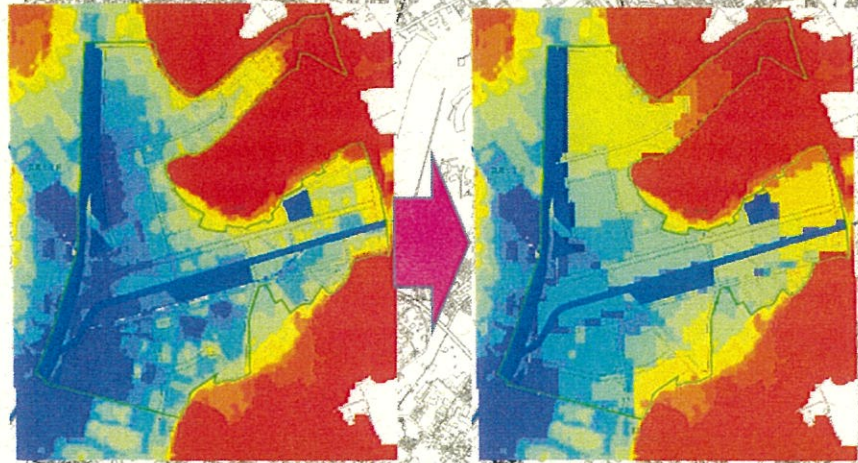
市川市

省志野市



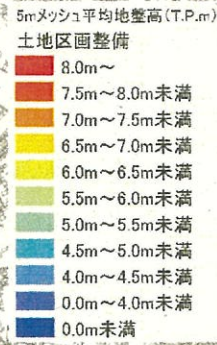
海老川水系海老川洪水浸水予想区域影響図(計画規模)

海老川河道掘削、調節池暫定掘削



整備前

整備後



河道改修により、下流に伝搬しやすくなったと推測また、調節池効果により氾濫水の減少と推測

盛土のため

左岸が盛土により高くなるため右岸への越水量が増加する

整備前は河道沿いの地盤が低かったが、整備後は盛土により地盤が概ね一様となった中で、農地に建物が建設され氾濫水の流れが悪くなり水位(水深)増加に繋がったと推測

溢水した氾濫水は河道へ戻って流下河道の下流側の水位の影響で下流側へ流れやすくなった

盛土のため

調節池50cm掘削のため

下流側では溜まることなく海へ排水される

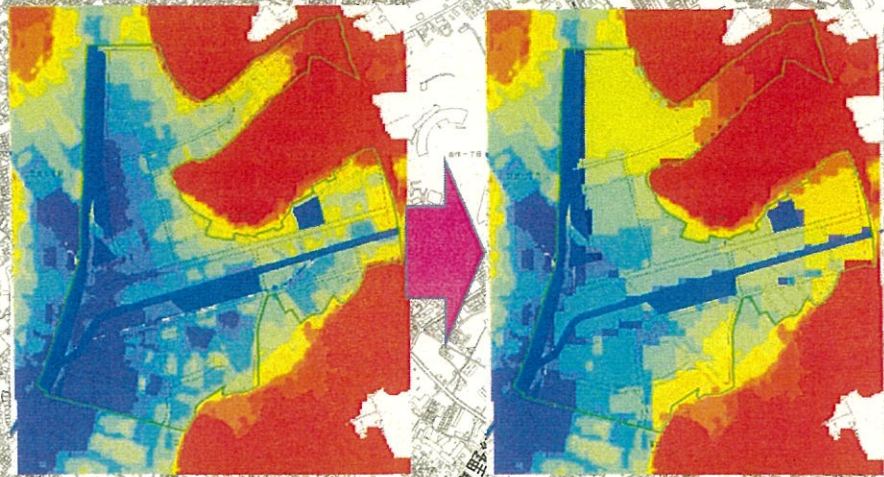


市川市

習志野市

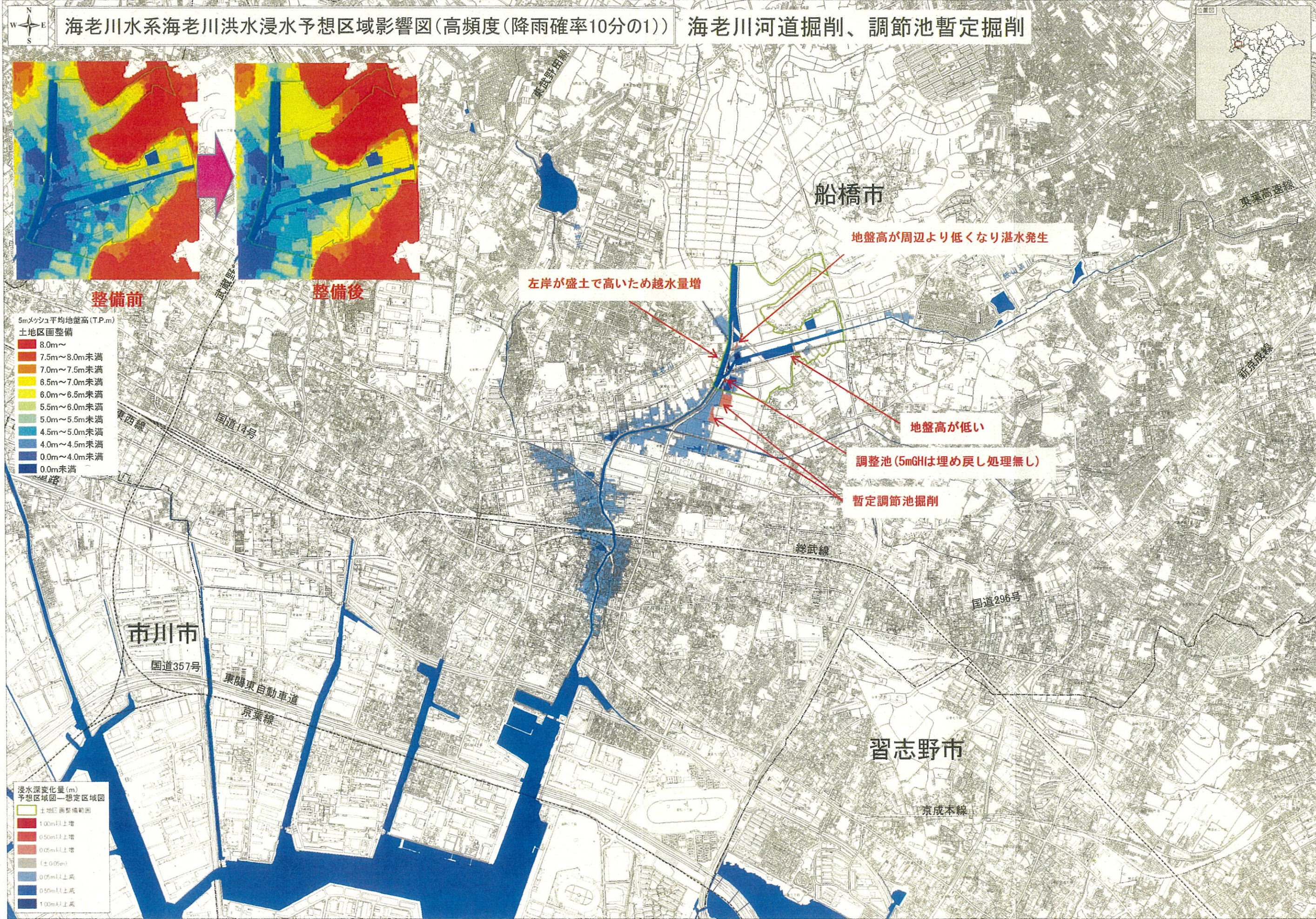
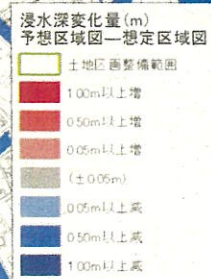
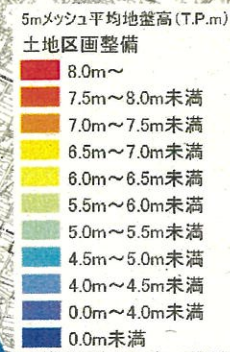


海老川水系海老川洪水浸水予想区域影響図(高頻度(降雨確率10分の1)) 海老川河道掘削、調節池暫定掘削



整備前

整備後



左岸が盛土で高いため越水量増

地盤高が周辺より低くなり湛水発生

地盤高が低い

調整池(5mGHは埋め戻し処理無し)

暫定調整池掘削